

Ⅶ 豊かな「都」をつくる 24 森林環境管理・林業振興 (120) 新たな森林環境管理制度の構築

これまでは

「奈良県森林環境の維持向上により森林と人との恒久的な共生を図る条例」を制定しました。
(令和2年4月1日施行)

<目的>
スイスの森林管理を参考に、森林の4機能(森林資源生産・防災・生物多様性保全・レクリエーション)を高度発揮させることで、森林と人との良好な関係を永続的に築く。

<基本的施策>
①県内の森林を4つの区分に誘導



②森林の4機能発揮に向けた施策実施
③奈良県フォレスター(県職員)を養成・配置

もっと良くするために

「奈良県森林環境の維持向上により森林と人との恒久的な共生を図る条例」に基づき、新たな森林環境管理制度の構築に向けた事業を進めます。

- (新) 恒続林化の促進(11百万円)
県が推進する恒続林化について奈良県フォレスターが積極的に関与しながら誘導の促進を図る。
- (新) 奈良県フォレスターの配置検討(1百万円)
奈良県フォレスターを令和5年から市町村へ配置するにあたり、配置及び経費基準を検討する。
- 生物多様性指標の確立(1百万円)
生物多様性について、収集した3年間のデータを総括し、指標を確立することで、モニタリング指標として活用する。
- リース林業教育センターとの交流(10百万円)
友好提携協定に基づき、スイスのリース林業教育センターからの実習生を受け入れ、技術交流を図る。



リース校との友好提携



スイスからの実習生を受入

令和3年度予算案 23百万円

R3予算案 22,998千円

「奈良県森林環境の維持向上により森林と人との恒久的な共生を図る条例」に基づき、新たな森林環境管理制度を構築するため、目指すべき森林(恒続林、適正人工林、自然林、天然林)への誘導、奈良県フォレスターの配置検討等を進める

R3の取組

- (新) 恒続林化の推進(10,725千円)
県が推進する恒続林化について奈良県フォレスターが積極的に関与し誘導を促進
- (新) 奈良県フォレスターの配置検討(1,223千円)
奈良県フォレスターの市町村配置(R5年～)に向け、配置及び経費基準を検討
- 生物多様性指標の確立(1,000千円)
3年間の収集データを総括し、指標を確立することで、モニタリング指標として活用
- リース林業教育センターとの交流(10,050千円)
友好提携に基づき、スイスのリース校からの実習生を受け入れ、技術交流

<スケジュール>

- 令和3年度 奈良県フォレスターアカデミー開校
- 令和5年度 奈良県フォレスターの市町村配置の開始



多様な植生を有する恒続林のイメージ



スイスからの実習生による技術講習

<問い合わせ先>

水循環・森林・景観環境部
森と人の共生推進室 東村室長補佐(内線3991)

VII 豊かな「都」をつくる 24 森林環境管理・林業振興

(121) 奈良県フォレスター制度の確立、フォレスターアカデミーの運営

これまででは

「奈良県フォレスターアカデミー条例」を制定しました。
(令和3年4月1日施行)

<目的>

森林環境の維持向上に関する専門的な知識を有し、それを実践することができる技術及び技能を備えた人材を養成し、もって森林と人との恒久的な共生に寄与する。

<設置学科>

- ①フォレスター学科 (2年制)
地域の森林管理を指導する「奈良県森林環境管理士」を養成
- ②森林作業員学科 (1年制)
森づくりを実践する「奈良県森林環境管理作業士」を養成



アカデミー開校予定地
(現 県立吉野高校)

R3予算案 322,322千円 [債務負担行為 149,938千円]

森林環境の維持向上に関する専門的な知識を有し、かつ、それを実践することができる技術及び技能を備えた人材を養成し、もって森林と人との恒久的な共生に寄与するため、**フォレスターアカデミーを令和3年4月に開校**

R3の取組

- 奈良県フォレスターアカデミーの運営 (135,420千円)
- 新** 吉野高等学校の活用 (169,438千円、R4債務負担行為 149,938千円)
新たな森林環境管理拠点の整備に向けた基本設計・実施設計等
- 奈良県フォレスターアカデミーの整備 (17,464千円)
フォレスターアカデミーサテライト実習場の整備

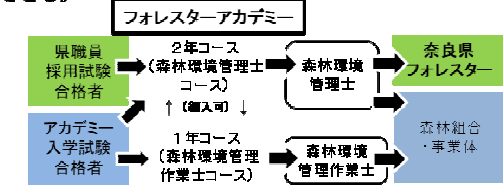
<スケジュール>

- 令和3年度 **奈良県フォレスターアカデミー開校**
- 令和5年度 奈良県フォレスターの市町村配置の開始
- 令和7年度 新たな森林環境管理拠点の開所

もっと良くするために

奈良県フォレスターアカデミーを令和3年4月に開校します。

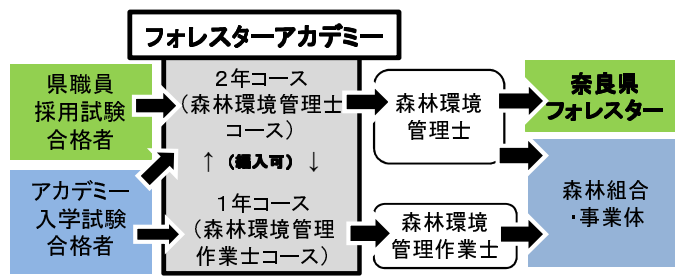
○アカデミーを卒業した県職員を「奈良県フォレスター」に任命し、市町村に駐在のうえ森林環境管理の業務に従事させる。



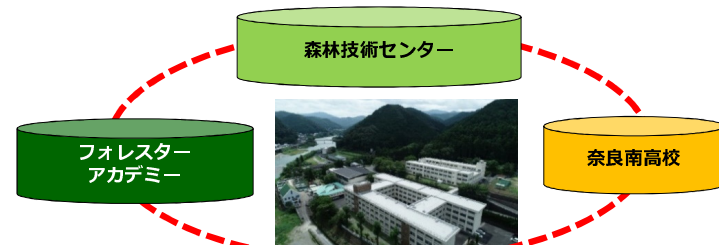
- ・(新)吉野高等学校の活用(169百万円)[債務負担行為 150百万円]
- ・奈良県フォレスターアカデミーの整備(18百万円)
- ・奈良県フォレスターアカデミーの運営(135百万円)



令和3年度予算案 322百万円 [債務負担行為 150百万円]



フォレスターアカデミーにおける人材養成



吉野高等学校を活用した新たな森林環境管理拠点のイメージ

<問い合わせ先>

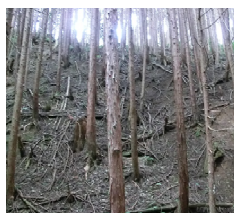
水循環・森林・景観環境部
森と人の共生推進室 藤平室長補佐(内線3992)

VII 豊かな「都」をつくる 24 森林環境管理・林業振興 (122) 森林の防災機能の向上

これまでは

「奈良県森林環境の維持向上により森林と人との恒久的な共生を図る条例」を制定し、森林の防災機能を重視した取組を始めます。

平成23年の紀伊半島大水害などに見られるように、広域の森林において、これまでの想定を上回る規模の激甚な山地災害が発生していることから、災害を未然に防いだり、災害が発生した場合においても被害を低減させる「災害に強い森林づくり」が強く求められています。



施業放置林(間伐前)



平成23年紀伊半島大水害における山地災害

R3予算案 329,236千円

適正に管理されていない森林がもたらす土砂災害等の影響の重大性に鑑み、防災機能を重視した森林環境管理制度の導入や関係機関が保有する森林防災に関する情報を共有し、災害の発生を防止または軽減するために必要な施策を実施

① (新) 混交林誘導整備 (193,925千円)

- ・ 施業放置林において、小面積皆伐地に広葉樹等を植栽することにより、崩れにくい防災機能の高い森林に誘導
- ・ 県が推進する恒続林化について、奈良県フォレスターが積極的に関与し、誘導促進

② 次世代型森林情報の活用推進 (116,669千円)

- ・ 航空レーザ測量、解析による森林資源情報や地形情報を市町村と共有し、効果的な森林整備を推進

③ 土地の改変にかかる協働監視 (4,500千円)

- ・ 衛星写真を活用した土地改変の監視

もっと良くするために

新条例に基づく防災機能向上のための施策を実施します。

- ・ (新) 混交林誘導整備 (194百万円)
県森林環境税を活用した新たな取り組みとして、施業放置林において小面積皆伐地に広葉樹等を植栽することで崩れにくい防災機能の高い森林に誘導
- ・ 次世代型森林情報の活用推進 (117百万円)
航空レーザ測量、解析による森林資源情報や地形情報を市町村と共有し効果的な森林整備を推進
- ・ 衛星写真を活用した土地改変の協働監視 (4百万円)
- ・ 新たな森林環境管理制度の導入推進 (14百万円)

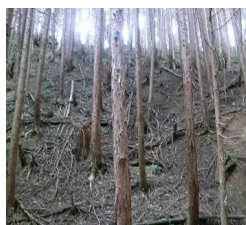


施業放置林(間伐後)



航空レーザ測量

令和3年度予算案 329百万円



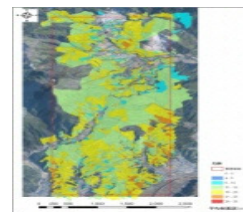
施業放置林



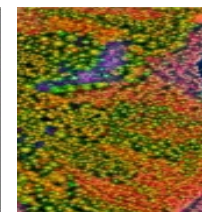
整備後イメージ



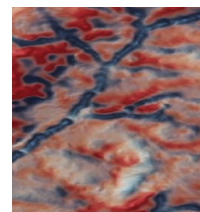
航空レーザ測量



平均樹高



林相図(樹種)



CS立体図 …等

<問い合わせ先>

水循環・森林・景観環境部 ①③森林整備課 山中課長補佐(内線3971)

② 林業振興課 阪本課長補佐(内線3941)

①④森と人の共生推進室 東村室長補佐(内線3991)

VII 豊かな「都」をつくる 24 森林環境管理・林業振興

(123) 奈良県産材の安定供給及び利用の促進、奈良の木ブランド戦略

これまで

「奈良県産材の安定供給及び利用の促進に関する条例」を制定しました。
(令和2年4月1日施行)

<基本理念>

- 持続可能な森林経営
- 森林の次世代への継承



<基本的施策>

- 県産材の安定供給の促進
路網の整備、林業機械化の推進
- 県産材の利用の促進
販路拡大、多用途での利用促進
- 人材の育成及び確保
林業従事者・県産材利用促進を担う人材の育成
- 山村地域の活性化
- 普及啓発 ○木の文化の継承



もっと良くするために

新条例に基づき、県産材の安定供給・利用促進に関する取組を総合的・計画的に実行します。

新たな森林環境管理体制の構築・推進、持続的に森林資源を供給する森林づくり (510百万円)

- ・林業就業者の確保・育成
- ・計画作成の促進 ・生産基盤の強化 ・木材搬出の促進

奈良の木ブランド戦略の推進 (42百万円)

- ・奈良の木のブランド力の強化・発信
- ・国内外への販路拡大

県産材の需要拡大 (42百万円)

- ・公共建築物や住宅等への県産材利用促進
- ・木質バイオマスの利用促進
- ・県産材の需要拡大を担う人材の育成



県産材の加工・流通の促進 (40百万円)

- ・木材加工の効率化 ・木材流通の合理化

令和3年度予算案 634百万円

R3予算案 634,290千円

県産材の安定供給及び利用の促進に関する施策を総合的・計画的に推進

施策の柱と主な取組

①新たな森林環境管理体制の構築・推進、持続的に森林資源を供給する森林づくり (509,993千円)

○林業就業者の確保・育成

林業労働者の確保・育成、林業事業体の育成、育林技術継承のための試験研究

○計画作成の促進

森林経営計画等に基づいた計画的な森林施業を行う森林所有者、森林組合、林業事業体等への支援

○生産基盤の強化

集約化による効率的な木材生産を目的とした、森林組合、林業事業体等による林業機械の導入等を支援、山村振興支援

○木材搬出の促進

集約化団地からの効率的な木材生産を行う森林組合、林業事業体等への支援・未利用材の搬出促進



山林での作業

②奈良の木ブランド戦略の推進 (42,104千円)

○奈良の木のブランド力強化・発信 ポータルサイト・SNSによる情報発信、「木づかい運動」・木育の推進

○国内外への販路拡大 首都圏の建築関係者等へのセールスやPRイベント、海外へのプロモーションの実施

③県産材の需要拡大 (41,933千円)

○公共建築物や住宅等への県産材利用促進 奈良の木利用推進協議会の開催、住宅助成、木材加工利用技術の研究

○木質バイオマスの利用促進 利活用検討会議の開催、地域内エコシステムの導入可能性調査、(新)燃料実態調査

○県産材の需要拡大を担う人材の育成 「奈良の木大学」の開講、木造建築の設計・施工に携わる技術者の育成

④県産材の加工・流通の促進 (40,260千円)

○木材加工の効率化、木材流通の合理化

木材加工流通施設整備への補助、奈良の木サプライチェーン構築に向けた事業者連携体制の検討



奈良の木PRイベント会、商談会等の実施

<問い合わせ先>

水循環・森林・景観環境部 ①林業振興課 阪本課長補佐(内線3941)

②③④奈良の木ブランド課 川畑課長補佐(内線3961)

VIII 誇らしい「都」をつくる

～定住、交流の促進により、南部・東部地域を
住み続けたいくなる、還りたいくなる、
訪れてみたいくなる地域にする～